

中原中也生誕祭

空の下の朗読会

2021年

4月29日 木祝

12:30~14:30

入場無料

(記念館への入館も無料)

入場制限を行う
場合がございます。

一九〇七年山口市湯田温泉に生まれ、三十年の短い生涯を詩にささげた中原中也。中也が生まれた場所で詩の朗読を好んだ中也にならない、一般の方々に自作や愛読の詩を朗読していただきます。あわせて、ゲストによるミニライブもお楽しみください。

会場 中原中也記念館 前庭 山口県山口市湯田温泉1-11-21
※雨天の場合は湯田温泉ユウベルホテル松政にて開催

<第1部> 12:30 ~ 13:30

4/1 朗読受付開始
(木)

朗読会

朗読を希望される方は、事前に中原中也記念館ウェブサイト・電話でお申し込みください。1組(3名まで)3分以内 **先着15組**

Twitterで同時開催 #中也web朗読会2021



<第2部> 13:40 ~ 14:30

浜田真理子ライブ support : Marino (Sax)



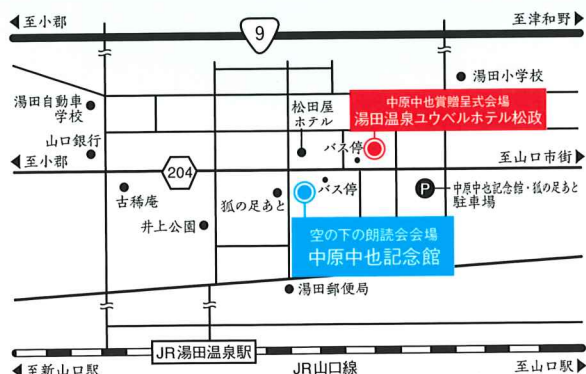
浜田真理子
[シンガーソングライター]

鳥根県出雲市生まれ。松江市在住。1998年暮れに1stアルバム「Mariko」をリリース。2004年「情熱大陸」出演。2014年初のエッセイ「胸の小箱」を上梓する。2013年から7年間福島と原発を考える勉強会「スクールMARIKO」を主宰して多くの講師を松江に招く。詩人の和合亮一氏もその一人。2019年11月自身のレーベルCamellia Recordsを立ち上げ、ライブ盤「Mariko Hamada Live 2017・2019」vol.1、2020年2月にvol.2をリリース。全国の熱いファンに支えられて歌の旅を続ける。



Marino [sax]

宮古島出身。くらしき作陽大学 管打楽器専攻卒。2009年より関西地方のライブハウスを中心に研鑽を積む。2012年、宮古島を拠点に活動するFunk jam band Black Wax に加入。脈Myahk Records所属 久保田麻琴プロデューサーで4枚のアルバムをリリース。独特の詠りがある音楽性がいとうせいこう、ピーターバラカン、細野晴臣、梅津和時などから絶賛される。他、浜田真理子 福原美穂等サポートメンバーとして活動中。



[主催]

(公財) 山口市文化振興財団

お問い合わせ

中原中也記念館

TEL : 083-932-6430

HP : <https://www.chuyakan.jp/>

第26回

中原中也賞

贈呈式・記念講演

2021年

4月29日 **木祝**
15:30~17:50

入場 無料

入場制限を行う
場合がございます。

会場

湯田温泉ユウベルホテル松政 2階芙蓉の間
山口県山口市湯田温泉3-5-8

手話通訳をご希望の場合は、**4月16日(金)**までに山口市文化交流課
(FAX: 083-934-2670またはメールアドレス: bunka@city.yamaguchi.lg.jp) までご連絡ください。

贈呈式

15:30 ~ 16:10



こじま ひより

【受賞者】小島 日和

【受賞詩集】『水際』



受賞者略歴

1997年、東京生まれ、福岡育ち。2019年、詩を書き始める。
2020年3月、早稲田大学文化構想学部卒業。同年7月、詩集『水際』(七月堂)を刊行。

記念講演

16:50 ~ 17:50



「中也の風、
朔太郎の白」

【講師】

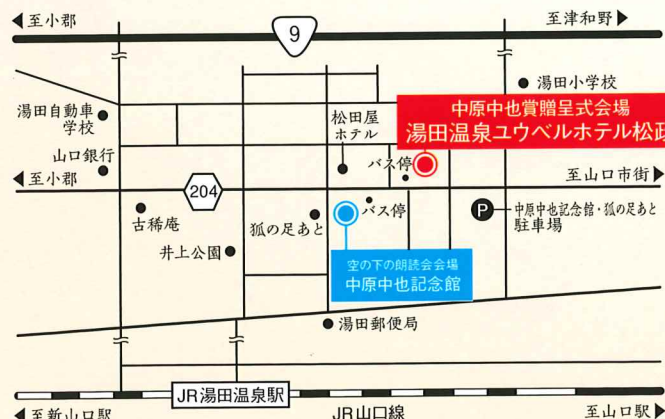
はぎわら さくみ
萩原 朔美

(多摩美術大学名誉教授・前橋文学館館長)

講師略歴

1946年東京生まれ。多摩美術大学名誉教授。前橋文学館館長。映像作家。

母は小説家萩原葉子。祖父は詩人萩原朔太郎。1967年、寺山修司主宰演劇実験室・天井桟敷立ち上げに参加し、俳優、演出家として活躍。1975年、月刊「ビックリハウス」をパルコ出版から創刊し、編集長を務める。主な著作「思い出の中の寺山修司」、「毎日が冒険」、「時間を生け捕る」、「演劇実験・天井桟敷の人々」、「死んだら何を書いてもいいわ」、「劇的人生こそ真実」。



主催 山口市

後援 (株)青土社

(公財)角川文化振興財団

お問い合わせ

山口市交流創造部文化交流課

TEL: 083-934-2717

贈呈式・記念講演、中原中也生誕祭に参加される際は、体温確認・マスク着用・手指消毒・新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のインストールなど、感染拡大防止へのご協力をお願いします。